

彩の歳時記

平成 二十七年 二月

春されば まづ咲くやどの 梅の花
ひとり見つつや 春日暮らさむ 山上億良(万葉集)

「春になると最初に咲くこの家の梅の花を
ひとりで見ながら春の長い日を暮すことよ」
秋の次に万葉集で多く詠まれる梅、



飛鳥時代に遣隋使が薬として中国から伝え、奈良時代に梅の木が遣唐使や僧侶によつてもたらされました。梅(クエン酸と塩(ナトリウム)が結合すると、疲労の原因となる乳酸を(水と炭酸ガス)に分解します。花や香りだけではなく実用としても元気を与えてくれる(梅) 近郊の梅園で観梅を楽しみながら春を感じてみたいものです。
皇居東御苑・新宿御苑・小石川後楽園や、梅にゆかりの湯島天神・亀戸天神などが有名。

二月の暦 如月 生更き「草木が生き更える」月。寒さが厳しく「衣を更に着る」夜更着とも。

一日 テレビ放送記念日 昭和二十八年(1953年)、日本初のテレビ放送が開始されて、早六十年以上が。

三日 節分【雑節】「春夏秋冬」に節分「季節を分ける日」があるが春は大晦日的な意味合いもある。追儼(ついな) (豆を撒いて難を追い払う宮中行事) が行われる。恵方(今年は西南西)を向いて海苔巻を一口で食べると厄除けになるといふ関西地方の慣習をセブンイレブンが販売にあたり「恵方巻」という商品名を採用、全国的に広まった。



四日 立春【二十四節気】春立つ日、禅寺の門に縦書き文字が左右対称になる「立春大吉」と書いた呪いの札を貼り、一年間の厄を払う。



八日 針供養 浅草寺境内淡島堂 使えなくなった縫針を豆腐などに刺し供養し、神社に納める行事。淡島神は婦人病治療・安産・子授け・裁縫の上達・人形供養など女性に靈験のある神。大正《色さめし針山並ぶ供養かな》 高浜虚子



十一日 建国記念の日 1967年からの国民の祝日。紀元節「神武天皇の即位日?」として祝されてきたが戦後廃止されていたもの。建国の日ではなく、あくまで建国記念する日としている。

十二日 菜の花忌 作家・エッセイスト、司馬遼太郎【1923~1996】の忌日。好んだ「菜の花」に因む。生地の大阪に記念文学館。新聞記者を経て「梟(ふくろう)の城」|| 映画化で直木賞。



十四日 聖バレンタインデー 269年にローマ皇帝の迫害下で殉教した聖バレンタインに由来するクリスマス トレビドラマ化された作品が多く「坂の上の雲」「翔ぶが如く」「竜馬が行く」ト教の記念日が世界各地で男女の愛の誓いの日に。チョコを送る習慣は、菓子業界の商戦と共に。



十九日 雨水【二十四節気】陽気地上に発し、雪水とけて雨水となればなり



二十三日 皇太子誕生日 1960年(昭和35年)ご生誕。東宮徳仁殿下は五十五歳に。日本赤十字名誉副総裁。国際連合「水と衛生に関する諮問委員会」名誉総裁。

二十日~三月二十一日 水戸偕楽園・梅祭り

二月の歌 いつかある日 原詩: Roger Duplat' 【1921~1951】

原詩のロジェ・デュプラは仏の登山家。1951年、ヒマラヤの高峰ナンダ・デヴィに登頂中、同僚とともに消息を絶つ。享年30歳。遠征中持っていた赤い手帳に書き付けられた詩らしいものを小説家・登山家で『日本百名山』の著者・深田久弥【1903~1971】が日本語詞にしたという。作曲の西前四郎は英語教師で、関西登高会所属の登山家。井上靖の小説『氷壁』に深田久弥の訳詞があり、日本語詞はそれを歌いやすくしたものの。



いつかある日山で死んだら
古い山の友よ 伝えてくれ
母親には 安らかだったと
男らしく死んだと父親には
伝えてくれ いとしい妻に
俺が帰らなくても生きて行けと
息子達に 俺の踏みあとが
故郷の岩山に残っていると
後略